

# CONTENTS COMBAT

2013.Jul.  
No.448

# 7

Cover Design  
favorite graphics (tamao ito),  
Cover Photo  
©CAPCOM CO.LTD  
ALL RIGHTS RESERVED.  
©WORLD PHOTO PRESS 2013



## 【第1特集/BIOHAZARD】

014 速報! 東京マルイ ガスブローバック  
**SAMURAI EDGE A1**  
ジル・バレンタイン モデル

●Photos&Text by Taku

016 GAME OVER THE TOP  
バイオハザード リベレーションズ  
アンベールド エディション

●解説:斉藤直樹

020 シューティングバー-EA × バイオハザード 2nd Season

●Photos&Text by Taku

## 【第2特集/トイガン】

022 最新モデルが勢揃い  
第52回 静岡ホビーショー

●Photos&Text by Taku

024 トイガンニュース  
TOKYO MARUI

024 ガス・サウンド・システム VSR-10 PRO HUNTER G

026 ガス・ショットガン・シリーズ M870 TACTICAL

028 M320A1 ガス・グレネードランチャー

030 電動ガンLIGHT PRO MP5 A5 R.A.S.

031 M9A1 STAINLESS MODEL

032 BBエアリアルボルバー・シリーズ

## Western Arms

033 BERETTA M92FS 男たちの挽歌 NEW BATTLE DAMAGE Ver.

034 COLT M1911A1 PRIVATE RYAN NEW BATTLE DAMAGE Ver.

034 COLT MkIV SERIES'70 HUNTER TYPE CBHW

035 BERETTA M92FS DIE HARD TYPE CBHW

035 BERETTA M8045 COUGAR CBHW

062 WESTERN ARMS  
COLT MkIV SERIES'70  
HARD TO KILL & CBHW SERIESE

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

072 Scoop! WESTERN ARMS  
MM4A1  
FULL METAL CUSTOM

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

## 【第3特集/ミリタリー】

036 Tank Farm  
Open House 2012

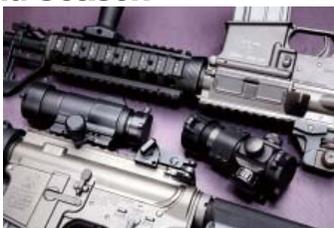
●Photos&Text by Robert Bruce, Military Affairs Editor

076 米韓合同軍事演習「FALL EAGLE」

●取材:菊池雅之

130 月刊 自衛隊  
ニッポンのちからこぶ  
日本の戦車①「10式戦車」

●取材:菊池雅之



004 New Generation Styler  
OLD SCHOOLER SUMMIT 01

●fujiwara

046 Goods & Accessory

060 COMBAT Recommend Movie  
G.I.ジョー バック2リベンジ

●解説:狩野健一郎

065 WESTERN ARMS  
BERETTA M92FS SALT

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

068 WESTERN ARMS  
KONGSBERG M1914 REAL STEEL Ver.

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

070 WESTERN ARMS  
COLT COMBAT ELITE

080 世界の兵士図鑑  
現代のアメリカ海軍 さまざまな制服と徽章類②

●イラスト:解説:坂本 明

084 サープラス品いじり技術研究所

●写真・文:織本知之

085 Militaria Roundup!  
ドイツ軍 復刻版戦闘糧食と関連装備

●解説:菊月俊之 ●写真:宮坂政邦 (WPP)

096 PRESENT

134 The Equipments of the U.S. Force  
【現用米軍装備カタログ】第105回  
米陸軍RANGERの最新MULTICAM迷彩装備

●解説:松原隆 (高知ボンバース) ●撮影:山崎 学

184 中田商店グッズ

186 S&Grafグッズ

097 ブラックホール

098 MYSTERY RANCH

伝説の男、ダイナ・グリーソン スペシャルインタビュー

100 物欲ワンホール

ROUND 21:魅惑の軍用時計その1:コクビットクロック

104 レア・ミリタリー・テクノロジー

108 ミリタリー雑学講座

112 ミリタリー・コレクション

114 幻妖中隊 #mod.21 ●by FUJIWARA

116 アメリカGUN事情 Guns Talk from US

118 帰ってきた 狩野健一郎の[監督、そこにおっぱいは必要ですか!?]

120 蛙のゆびさき(中山 蛙)

124 トイガンズジャンクション

161 バックナンバーリスト

162 読んで覚える TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ

164 実銃射撃大会 ノーベルアームズ杯

166 A STITCH IN TIME

新連載

PROJECT NINJA「No gear, No life」●Tokyo Equipment Stupid

170 狩野健一郎のシネマ放浪記

171 狩野健一郎の新作DVD紹介

172 コンバットマガジン・インフォメーション・センター

175 読者プレゼント応募方法

176 編集後記





# 第52回 静岡ホビーショー

## 模型関連の最新情報が手に入る日本最大のホビーショーが今年も開催!!

こちらが会場となる「ツインメッセ静岡」。東京でいうところのビッグサイトみたいなものだろうか。さまざまな催し物が行なわれる展示場だ。



トイガンユーザーの注目は東京マルイ・ブース。今回も多くの新製品の発表を行なっていた。会場内でも常に人だかりの絶えない場所でもある。



初のサウンドシステムを搭載したトイガンは、来場者の注目の的となっていた。BB弾の発射と同時に迫力のあるサウンドが聞けるのは面白い。



こちらも注目を集めていた新カテゴリーのガスショットガン。実用性を考え、ライブセルではなくケースレスモデルにする辺りが、東京マルイらしい。



HK416Dの発表時に紹介されていた「M320A1」も、その仕様が発表された。カートリッジ型のガスモデルとしてのモデルアップである。



グレネードカートリッジ内に装填するのはBB弾のみ。そのためシンプルで非常に軽い。これならば複数持っても苦にならない。



ガスタックとショットシェル型マガジンは別売予定。複数持っておけば、ガス圧の低下や弾数不足に悩まされる心配はない。



周囲の人からは普通のエアソフトガンを撃っているようにしか見えないが、射手本人には、迫力のサウンドが聞こえている。



勝利者インタビュースペースのような撮影コーナーでは、トイガンを手にして写真撮影を行なうことができる。面白いアイデアだ。

常に人の波が途切れなかった体験試射コーナー。発売前の製品に触れられる数少ない場所のひとつである。



実際に撃ってその感触まで楽しめるのは、ファンとして至福といっても過言ではない。夏の発売が待たれる。



そしてバイオ限定モデルは、ファン待望のジル・バレンタインモデルの登場だ。これまでのM92FシリーズではなくベースガンもM9A1へとバージョンアップされている。



チラ見せでリボルバーがあることは予想されていたが、まさかエアコッキングガンだとは誰も気付かなかった「エアリボルバーシリーズ」。



まもなく第2弾も発売となるリアルサイズの10歳以上用電動ガン「LIGHT PROシリーズ」。斬新なメカとリーズナブルな価格で人気のモデルだ。



日本の代表的な建造物のひとつである城。細部にまでこだわった「完成城郭」は、城マニアと呼ばれる人々からも注目されている。

日本全国のホビーファンが注目してやまないイベントが、毎年5月に静岡県のツインメッセ静岡で開催される「静岡ホビーショー」だ。国内の名だたる模型およびホビー、ラジコンメーカーが集い、新製品の発表を行なうこのイベントは、ファンにとって最新情報をキャッチできる数少ない機会として毎年注目のイベントである。多くの模型メーカーが集うこのイベントにおいて、トイガンユーザーが注目するのは、何といても東京マルイの展覧だろう。トイガンメーカーでは、東京マルイとクラウ

ンの2社が出展しているだけとあり、いやが上にもトイガンユーザーの注目が集まる。東京マルイでは、近頃、ホビーショーの数日前よりチラ見せ的な情報公開をホームページ上などで行なっており、開催前からネットや口コミで情報が飛び交っている。今回のホビーショーの最大の注目は、何といても、新世代のカテゴリーだ。チラ見せ情報公開の時点から色々なウワサ話がかごとしやかに囁かれていた。東京マルイの発表した数々の新製品の中でも、いちばん注目を集めたのは、新次

元のメカニズムだろう。これだけ多くのトイガンが世に出ているというのに、まったく新しいカテゴリーのトイガンなどがあるのだろうか？ と少々疑問に感じていた。だがこんなアイデアがあったのかと、東京マルイの発想力には驚かされてばかりである。その驚きのカテゴリーというのが、ガン内部にサウンドシステムを搭載し、専用のトランシーバー型受信機によって実銃さながらのリアルな発射音を楽しめるという「GUN SOUND SYSTEM (ガンサウンドシステム)」である。

そしてこれまた驚きなのが、ネットでも話題に上っていたポンプアクション・ショットガンである。チラ見せ情報でM870系のショットガンであることは判っていたが、どんなメカニズムになるのか気になっていたところだった。そのメカニズムとは、新型のHOP UPシステムを搭載したケースレス・ガスガンであった。その他にもバイオハザード限定モデルの最新作「サムライエッジA1」やグレネードランチャー「M320A1」、リアルサイズカートリッジ採用の「エアリボルバー」「M9A1ステ

ンスモデル」「シリーズ70ニッケルモデル」などなど、かなり盛りだくさんな商品ラインナップで来場者の目は釘付けになっていた。今回、静岡ホビーショーで発表された東京マルイの新製品のほとんどが2013年内に発売を予定しているというのだから驚きだ。普段目にするのでできないメーカーの新製品を間近に見られるホビーショーは、我々ファンにとって大注目のイベントである。次回は秋に関東で開催を予定している。静岡は遠いけど、関東なら行けるという人はぜひ足を運んでほしい。



**クラウンモデル**  
もうひとつのトイガン関連メーカー出展ブースは「クラウンモデル」。マニアックなモデルを数多く発売していることでも知られている。



VMMVの倉庫に鎮座しているM2ブラッドレー歩兵戦闘車輻の訓練用ターレット。ターレットリング以下も作られており、チェーン・ガンの操作訓練用として陸軍で使われていたもの。VMMVはさまざまな寄付や買い付けによって大小の各種部品をストックしている。将来的にはこれらの部品を使って車輻をレストアするため、「備蓄」を行なっているのである。(Photo: Robert Bruce)



VMMVの代表であるアラン・カーズ(白い帽子の人)が、いわずと知れたT-34戦車の前で、いかにしてこの戦車を入手したか、その苦労話を語っているところ。(Photo: Robert Bruce)

招待客に公開された車輻のレストア現場。この小さなシャーマンはルノーFT17(アメリカでいうM1917)軽戦車のもの。運転用のレバーなどが見える。なんだか半分も進んでいないように見えるが、もうすぐ完成するという。(Photo: Robert Bruce)



レストアを待っているイスラエル改修型シャーマン。俗にいう「スーパー・シャーマン」。恐らくM50と思われる。イスラエル軍は物資不足から、大戦時のM4シャーマンにフランス製のCN75-50戦車砲(これは元はといえばドイツパンター戦車が装備していたクルップKwK42/L70戦車砲のコピー)を無理やり載せ、なんと1980年代まで運用し続けたという実績がある。(Photo: Robert Bruce)



アメリカからイギリスに戦時緊急レンド・リース計画によって供与されたM3中戦車、イギリス人がいうところの「ジェネラル・グラント」。イギリスの北アフリカ仕様迷彩に塗装されている。(Photo: Robert Bruce)



博物館の裏手に並んでいた冷戦時代のイギリス軍装甲車や自走砲。(Photo: Robert Bruce)

「VMMVのコレクションには100台あまりの車輻が含まれている。軍用マウンテンバイクから主力戦車までを網羅するものだ。その多くは今日、静態展示もしくは戦術デモンストレーションが可能な動態展示され、それらの車輻が軍においてどのように運用されていたか、その経験を来場者と分かち合えるようになっている。戦車とはどんなものか、戦場で戦車と相対することとはどんなものなのか、ハンビーに乗って砂漠を横断するのはどんな雰囲気なのか、あるいは折り畳み式の座席に座って装甲兵員輸送車に揺られることとはどんなものなのか。このオープンハウスに参加すれば、そういった戦時の雰囲気をいくぶんなりとも体感できると思う」

——アラン・カーズ、「戦時のアメリカ人」博物館財団会長

40tの主力戦車が走り、その音を聞き、振動を感じ、匂いまで知ることができる場所はそうはないだろう。特にそれが大口徑砲と機関銃を向け、ディーゼルの排煙とともに自分に向かって恐ろしげに突っ走ってくる光景を目の当たりにすることができる場所となると、なおさらだ。

その光景を目の当たりにした相手が(本来ならごく少数の実戦経験者しか知らないはずの)恐怖と畏怖の念におののいたとすれば、アラン・カーズと彼のチームはその職責を果たしたといえるだろう。……しかも、そんな貴重な(そして恐ろしい)経験をする事が出来る機会が、無料で一般に公開されているのだ!

### ヴァージニア軍用車輻博物館

ヴァージニア軍用車輻博物館、略称VMMV (Virginia Museum of Military Vehicles) は、通例「タンク・ファーム(戦車置き場)とだけ呼ばれる。恐るべきことに(もしくは喜ばしいことに)、1991年に創設されて以来、毎年どんどん巨大化していつている。

VMMVの敷地は広大な草原、車輻の整備・再生と展示のための施設群、加え劣悪な戦車走行レンジが備えられている。それが首都ワシントンD.C.から車でちょっと出掛ければ行くことができる北ヴァージニアの農業地帯であるプリン

# TANKS FOR MOTHERS

Photos & Text by Robert Bruce, Military Affairs Editor

## OPEN HOUSE 2012



2012年8月18日、ヴァージニア州ノークスヴィル。VMMV、通称「タンク・ファーム」の入り口に立てられている看板。(Photo: Robert Bruce)

VIP向け展示会では、実際に車輻を「運転する」機会も設けられていた。第2次世界大戦時のM24チャーフィー軽戦車は非常に調子よく走り回っていた。(Photo: Robert Bruce)



ベトナムに従軍したボール・コブシックは「ダスター、クオッドおよびサーチライト協会」という元対空機関銃/機関砲兵の団体の歴史家である。今日はその名の通り、M42ダスター自走機関砲の40mmボーフォースM2A1連装機関砲について解説するためにやって来た。自身、ダスターの砲手だった。(Photo: Robert Bruce)



# WESTERN ARMS COLT Mk IV SERIES '70 HARD TO KILL & CBHW SERIES

ウエスタン アームズ ☎03-3407-5922  
http://www.wa-gunnet.co.jp/

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY



## コルトMkIVシリーズ'70 (ハード・トゥ・キル)

- 全長：約220mm
- 銃身長：約114mm
- 重量：約840g
- 装弾数：21+1発
- 予定価格：¥34,650
- 6月WA渋谷店限定発売予定

## ハリウッド・アクションに 新風を巻き起こした スティーブン・セガールの イメージ・モデル

『刑事ニコ』(1988年)で、彗星のごとく登場したアクション・スター、スティーブン・セガール。日頃からガバメントを愛好するセガールは、『刑事ニコ』でも、一見ベーシックながら、通好みのパーツを組み込んだガバメントなどを手に、鮮烈な合気道アクションで活躍した。その続編的な位置付けで製作された『ハード・トゥ・キル』(1990年)でも、日本で体得した合気道と、ガバメントをフルに活用してアクション・ファンの目を釘付けにし、'90年代ハリウッド・アクションの中心的スターに登り詰めた。

その後、数々のアクション映画に主演したセガールは、常にガバメント系のセミオートを使用し、そのいくつかがすでにウエスタンアームズ(以下:WA)から、「セガール・シリーズ」としてモデルアップされている。今月は、そのシリーズからセガール・アクションの第2弾、ハリウッド・スターとしてのポジションを揺るぎないものにした『ハード・トゥ・キル』をイメージしたセガール・カスタムが限定発売される。

精度の高さ、詳細な考証とリアリティ溢れる外観で好評のWAフロップ・シリーズ。特にオリジナルのデザインを大切にしたいセガール・シリーズは、ガバメント・ファンに欠くことのできないコレクションとして、再生



カスタム・グリップの老舗、米国のヘレッツ社が生産するスキップド・チェッカー・グリップを標準装備。



ベーシックなパーツ構成の中、両サイドをえぐり落としたリング・ハンマーがひと際目を引く。

スライド・トップ、フレームなどは濃いマット・グレー。スチール・モデルとステンレス・モデルの中間的な雰囲気を感じられる。





「悲惨な破滅の運命は、戦争の導火線に火を付けた者にある」—。  
北朝鮮はいつにもまして過激なメッセージを世界に発信した。  
この“火”こそが米韓合同軍事演習「フォールイーグル」である。  
北朝鮮はこの演習にあてつけるかのように、  
弾道ミサイルの発射の準備を進めた。この挑発行為に対抗するように、  
米韓は予定通り訓練を実施。  
そんな「フォールイーグル」の中で行なわれた、  
ある後方支援訓練をクローズアップしたい。

# FALL EAGLE

## 2013.APR.22

写真・取材／菊池雅之



写真左) ボハン海兵隊基地に構築された橋頭堡に置かれたひとり乗り韓国ドリームエアー社のホバークラフト。  
写真右) 今回の訓練に参加した米海兵隊の戦車M1A1エイブラムス。LCACによる揚陸訓練などが行なわれた。





MBAV &  
RLCSポーチ&  
MULTICAM装備

MBAVコヨーテタン



## ■ MBAV (Modular Body Armor Vest)

2006年、陸軍特殊部隊に支給されたSFLCS (Special Force Lord Carriage System) キットにMBSS (Maritime Ballistic Survivor System) の次世代プレートキャリアとしてMBAV (Modular Body Armor) が追加された。形状はEAGLE industries社が開発したプレートキャリアにカマーバンドが追加されたモデルで、CIRASに付属するリリース機能や防弾面積が省かれて軽量化されている。またソフト防弾素材が最初から裁縫されているモデルも存在している。現在ではリリース機能が追加されたRBAVとこのMBAVが主流となっている。



MBAVレンジャーグリーン



# The Equipments of the U.S. Force

[現用米軍装備カタログ] 第106回

# 米国陸軍RANGERの 最新MULTICAM迷彩 装備

- 解説:松原隆(高知ボンバーズ)
- 撮影:山崎 学
- モデル:和田やすお
- 協力ショップ:
- LAZY CAT <http://lazycat.jp/>
- Gamis <http://www2.ocn.ne.jp/~gamis/>
- TRi.S (旧・特小工房) <http://m80fmj.web.fc2.com/>